

2018年1月

コンビニの成長によって変わる飲食店の経営

経営学部 経営学科 石田ゼミ
B4R11086 佐藤雅迪

【卒業論文概要】

コンビニ業界は今急速に進化を遂げている。経済産業省が公表している平成28年の商業動態統計年報によれば、コンビニの店舗数は年々増加の一途をたどり2016年12月の時点で店舗数は55,636店舗である。さらに近年ではコンビニはただの小売店としての機能以外の様々なサービスを提供し始めている。ATMが設置されているだけでなく、ヤマト運輸などの運送業者各社の荷物の受け渡し場所としての役割がある。さらに淹れたてコーヒーの販売など提供するサービスの範囲もどんどん広がってきているのだ。

本論文の目的は、コンビニの影響を受けて飲食業界の経営はどのように変化してきているかということについて詳しく言及していき、コンビニ業界の成長など時代の変化に適応した今後あるべき飲食店の経営について考察していくことである。

まず、コンビニと飲食店の関係性を、関連文献等を参考に探り出した。その結果、イートインスペースの影響で従来なら飲食店で満たすはずの空腹がコンビニで満たされてしまうため飲食店に客足が遠のくことが分かったほか、ドーナツ販売の影響でミスタードーナツは売り上げだけでなく店舗数も減少している。また、飲食店には人員不足や過度な長時間労働など労働環境にも問題があることが分かった。これらを加味し、飲食店はどのように経営していくかについて考察し今後の在り方を提示した。